

学校だより

心に太陽を

令和8年1月27日

岩村田小学校

No.10

0267-67-3309

3学期が始まりました

3学期が始まりました。晴天の日が多く、休み時間には元気に校庭で遊ぶ姿がたくさん見られています。

3学期の始業式には、石川政好校長先生から「目標と努力」というお話がありました。「ベートベン」は耳が聞こえなくなるというハンデを負う等、苦しいこと、辛いこと、大きな壁を経験したが、目標への努力を止めなかった。」というエピソードを通して、「1つ目標をもとう」、「努力し続けると、必ず力になる」「諦めずにやり続けよう」というメッセージをいただきました。努力をしても結果につながらないこともあります。結果を出している人は必ず努力をしている。だからこそ、目標をもち、努力をし続けることが大切であることを教えていただきました。



3学期は46日間という短い学期ですが、1年のまとめと来年度に備える学期になるよう努めてまいります。今学期もよろしくお願いいたします。今回の学校だよりでは、児童会企画「全校かくれんぼ」の様子、全国学力学習調査の結果と考察について掲載いたします。

全校かくれんぼを行いました



23日(金)に児童会の交流委員会が企画した「全校かくれんぼ」を行いました。今回は隠れている交流委員会の子を見つけることを目的としながら、なかよしペアで校内に掲示された「キーワード」も探し、それをつなげてメッセージをつくることも行いました。

校内を所狭しと探し回る子どもたち。テレビ番組のように手の込んだ場所に隠れた訳ではないので、すぐに見つかるかと思いましたが、なかなか見つけることができず苦戦していました。しかし、子どもたちはなかよしペアで声をかけ合いながら一生懸命探し、隠れた交流委員を見つけました。キーワードをつなげたメッセージは「かくれんぼでつながる ぜんこうのわ」でした。まさしく、児童会目標「リング」につながる取組になりました。

初めての試みでしたが、昨年からの準備を重ね、子どもたちの力で企画、運営しました。不安な面もあったかと思いますが、初企画にチャレンジしようとした正副交流委員長の姿勢に嬉しさを感じました。まずはやってみて、上手いかないところは改善して次に生かしていく。そんなチャレンジできる岩村田小の子どもたちがこれからも育っていけるといいなと思います。

2月のスクールカウンセラー来校日

子育ての悩み、心配事、困った場面での対応や声かけの仕方など、お子さんのことで相談希望がある場合は、教頭までご連絡ください。

○2月10日(火) 10:00～11:30 ○2月27日(金) 9:00～12:00

※他の枠は予約済となっています。

今後の主な予定

<2月>

4日(水) 児童総会
6日(金) 参観日(低学年)
10日(火) 参観日(学習室)
13日(金) 参観日(中学年)
19日(木) 参観日(高学年)
26日(木) 支部子ども会



<3月>

3日(火) 6年生を送る会
9日(月)～16日 学期末清掃
11日(水)～13日(金) 学級事務日(5時間授業)
16日(月) 3学期終業式
17日(火) 卒業証書授与式
18日(水)～31日(火) 年度末休業

全国学力・学習状況調査の結果から

1 国語

- (1) 全体の正答率は、全国、長野県の平均とほぼ同じ結果となりました。
- (2) 評価の観点「知識及び技能」「思考・判断・表現」において、全国、長野県の平均をやや上回り、「知識及び技能」の「我が国の言語文化に関する事項」や「思考・判断・表現」の「読むこと」で、全国、長野県の平均をやや上回りました。
- (3) 問題形式では、「選択形式」で、全国、長野県の平均をやや上回り、「短答式」「記述式」でほぼ同じでした。

2 算数

- (1) 全体の正答率は、全国、長野県の平均をやや下回る結果となりました。
- (2) 評価の観点「知識及び技能」「思考・判断・表現」において、全国、長野県の平均をやや下回りました。学習指導要領の領域「データの活用」では、全国、長野県の平均とほぼ同じ結果となりました。
- (3) 問題形式では、「選択式」「短答式」で、長野県の平均をやや下回り、「記述式」で長野県の平均とほぼ同じ結果となりました。

3 理科

- (1) 全体の正答率は、全国、長野県の平均とほぼ同じ結果となりました。
- (2) 評価の観点「知識及び技能」において、全国、長野県の平均をやや下回り「思考・判断・表現」において全国、長野県の平均をやや上回りました。学習指導要領の区分・領域「地球を柱とする領域」では、全国、長野県の平均をやや上回りました。
- (3) 問題形式では、「選択式」で、全国、長野県の平均をやや下回り、「短答式」でほぼ同じ、「記述式」でやや上回りました。

【これまでの取組の成果】

「思考・判断・表現」において全国、長野県の平均を下回っていた点が、昨年度まで課題でした。今年度は、グランドデザインの核心「子どもの主体性を『探究』で育む」のもと、「教科学習の探究化」や「総合・生活科の探究化」を軸に取り組んできました。教科学習では「問い」に対して個人や全体で思考しながら学ぶことを大切にしてきました。総合・生活科では、学んできたことをアウトプットし、フィードバックを生かして学びを更新することを大切にしてきました。その取組が「思考・判断・表現」の力の向上につながってきていると捉えています。

【さらによくするための課題】

一方で、取組の成果を算数でさらに高めていく必要があると考えます。算数については、学んだことを生かして取り組む「定着問題の充実」が課題としてあげられます。授業後半の定着問題に取り組む時間や振り返りの時間を確実に確保できるよう取り組んでいきたいと思ひます。

今後も「子どもの主体性を『探究』で育む」ことを核にした授業づくりに取り組んでまいります。

4 児童質問紙

- ・ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている児童が多い。
- ・ 友達関係に満足している児童が多い。
- ・ 分からないことややくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていると思ひている児童が多い。
- ・ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思ひる児童が多い。
- ・ 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることがなかなかできずにいる児童もいる。

【これまでの取組の成果】

友だちを大切に、いじめは絶対に許さないという強い信念をもっていることを嬉しく思ひます。日頃から協働的な学習や生活を創っていることが、このアンケート結果につながっていると考えます。また、分からないことや自分と違った意見があったとき、諦めずに自ら解決方法を考え、工夫することに楽しさを感じていることも嬉しく思ひます。日常の授業において自分で学び方を考えたり選んだりしながら課題解決を図る取組が、この結果につながっていると考えます。

【さらによくするための課題】

一方で、学びを次の学習や日常に生かすことがなかなかできずにいる児童もいます。「わかった」がゴールではなく、学んだことを生かすと「こんなことができる」というよさを実感できる活動を位置づけることで、より学びの質を高めていけるよう取り組んでまいります。

今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。